

思い入れのある 商店街で新規出店 コロナ後を見据え 西播磨の活性化を

ふるさと佐用への思い強く

同店の代表、北村広樹さんは佐用町に生まれ、高校時代にたつの市内で3年間下宿を経験した後、大阪の大学へ進みました。大学時代は飲食店でアルバイトに精を出し、22歳で佐用町に戻って居酒屋を開きます。「ちょうど阪神・淡路大震災の直後で、家族と一緒にふるさとで過ごしたいという思いでした」と振り返ります。

しかし、佐用町は人口が減少する一方で、まちの活力が衰えつつあることに心を痛めていました。商工会の青年部の仲間たちとご当地グルメ「ホルモン焼きうどん」をPRし、まちおこしに努めたのもそのような経緯からでした。そして2009年8月、台風9号で佐用町が大きな被害を受けたことをきっかけに、「まちに人を呼び込む力になれば」と自らもホルモン焼きうどんの店を開きます。

さらに、佐用町ならではの資源を発信できないかと考え、メニューに取り入れたのが鹿肉でした。「駆除した鹿の解体処理施設を経営している知り合いから、捕獲後に迅速に処理することでジビエ特有の臭みがほとんど感じられない肉を出せると教わり、可能性を感じました」と北村さん。第2弾とし

て「鹿コロッケ」を仕掛けました。

空き店舗を改装し新規出店

「店を始めた当初は経営に必死でしたが、そのうちに魅力あるまちを何とか元気づけたいと思うようになっていきました。近くには姫路という大きな観光資源があります。せっかく遠方から姫路に来られた方がもうひと足延ばせる場所として、西播磨地域の魅力をもっと発信できるのではと考えるようになりました」と視野が広がっていったそうです。

中でも北村さんにとって高校時代を過ごしたたつの市はお気に入りのまちでした。「古い町並みが残っているだけでなく、春は桜、秋は紅葉が見事。いつか店を開いてみたいと思っていました」。たつの市内でまちづくりに関わっている知人から、昨年初めに龍野川西商店街に古民家長屋の空き店舗があるとの情報を聞き、すぐに出店を決断します。

店名を「かのね（鹿の音）」とし、鹿肉を中心としたジビエ料理を前面に打

ち出すことにしました。「佐用町は観光客がまだ少なく、特化した店では厳しいのですが、集客力のあるたつのならジビエ料理で行けるだろうと判断しました」。ただ、思っていた以上に長屋は老朽化が進んでおり、改装には手が掛かりました。また、コロナ禍により店を開けるタイミングもなかなか計れずにいたそうです。「今回、ひょうご産業活性化センターからの支援を改装費に充てられ、さらに2年間家賃補助を得られることで、その間は持ちこたえながらアフターコロナにチャンスを見いだそうと思った」と語ります。

コロナ禍で以前ほどの人通りはないものの、週末になると商店街はにぎわい、看板やメニューを見た人がSNSで発信し、その投稿を目にした人が訪ね



人気メニューの一つ、イノシシ肉ベーコンのガレット

てくるという好循環を築いています。
「当初は牛肉のメニューがよく出た
のですが、口コミ、リピーターに支えら
れ鹿肉が上回るようになりました」とジ

ビエ料理に手応えを感じています。
7月に佐用町にオープンする酒蔵を
改装したホテルとレストランの運営にも
携わることが決まっており、その準備に

も余念がない北村さん。「たつの市の
古き良き町並みをさらに整備し、これ
からも西播磨全体を盛り上げていきた
い」と力強く語ります。

店舗概要
かのね

所在地 たつの市龍野町川原町151-1-103
代表 北村広樹

事業内容 飲食店（ジビエ創作料理）
TEL 0791-72-8835

支援メニュー講座

商店街新規出店・開業等支援事業

商店街・小売市場の空き店舗を活用する 取り組みを支援します

制度概要

「商店街新規出店・開業等支援事業」では、商店街や小売市場の空き店舗を活用した新たな業種・業態の出店や住民のコミュニティスペースの設置により、商店街の魅力向上やにぎわい創出を図る取り組みを支援します。

事業名	新規出店・開業支援事業	商店街空き店舗再生支援事業
対象事業	商店街の空き店舗への新規出店 ※「若者・女性チャレンジ枠」として、女性および40歳未満の男性の開業者を特に支援しています	商店街等が空き店舗を借り上げ、以下の出店者を誘致する取り組み (ア) 商店街に必要な業務等の魅力ある出店者 (イ) 短期、週末など柔軟な形態の出店者 (チャレンジ出店)
対象者	開業希望者	商店街・小売市場、商工会議所・商工会、まちづくり会社等
期間	3年	3年
対象経費	店舗賃借料 内装工事費 ファサード整備費	・店舗賃借料、内装工事費、ファサード整備費、広告宣伝費等運営費、コンサル委託料（複数の空き店舗をまとめて出店誘致する場合） ※チャレンジ出店は専門家派遣経費も対象 ・住宅改修費、引っ越し費用（店舗兼住宅物件のみ）
助成額	対象経費の3分の1以内 (上限：1年目150万円、2年目50万円、3年目50万円)	・対象経費の2分の1以内 (上限：1年目200万円、2年目75万円、3年目75万円) ※チャレンジ出店で1年未満の場合は3カ月単位で按分 ・コンサル委託料（上限：100万円）※1年目のみ

問い合わせは ひょうご産業活性化センター経営・商業支援課 TEL 078-977-9116

伝えたい思い出を
最高のカタチに

写真集・詩集・自費出版のお問い合わせは

神戸新聞総合印刷
神戸新聞総合出版センター

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7
TEL 078(362)7143
http://www.kobenp-printing.co.jp/